

腱板修復術入院計画票

様

状況に応じて予定が変更になる場合があります。
ご不明な点はおたずねください。

術後4～6週で装具除去になりますが、個人差があります。
手術後、装具使用期間をお話します。

	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	入院日	手術前日	当日 手術前	手術後 (ICU)	1日目	2日目	3日目	～10日頃	()週目	()週目	()週目
目標	入院の説明がわかる	手術を受ける準備ができる	痛みのコントロールができる 固定肢位の必要性を理解し守ることができる						臥位で 前方挙上 術前80% 以上	座位で 前方挙上 術前80% 以上	洗面、更衣入浴 が自分ででき、 退院の準備が できる
食事	食べられない物や 希望があれば、 お知らせください。 	夜9時以降、絶飲食	絶飲食 飲んだり食べたり できません 	医師の指示があるまで 絶飲食	医師の指示により 飲食開始 (きき手が手術の時は オニギリ食になります)						
安静 リハビリ	制限はありません	制限はありません	なるべく病室にいて下さい	肩から腕は装具で固定 されています。腕は自分 では動かさないで下さい 指は動かしても結構です 手術後は許可があるまで 起き上がったりしないで ください。 	医師の指示により歩行 できます。 コンニャクボールで時々 手の握り運動をしましょう。 病室では1日3回、装具 から腕を出し、肘の屈伸 運動をします。 (看護婦が介助します) まだ自分では腕を動か さないでください。 			リハビリ室でリハビリを おこないます。	装具除去	自分で動か すリハビリ が開始にな ります。	
清潔		入浴かシャワー 手足の爪を切りましょう マニキュアをしている方 はとって下さい。			体を拭きます。(抜糸まで連日。土、日はどちらか1日) 朝、夕、洗面タオルをお渡しします。(装具除去まで) 			抜糸翌日～ シャワー浴 月、火、木、金 看護婦介助			
排泄		午後、浣腸をします		手術中に尿の管が 入ります。	朝、尿の管を抜きます。						
点滴 内服	現在内服中のすべての 薬を確認させていただ きます。 薬の種類により中止す る場合があります。 抗生剤テストをします	眠れない時は早めにお知 らせください。 指示により、眠剤をお渡し します。 	9時～10時頃、点滴開始 (明朝まで続行します) 指示があるときのみ、内服薬 を飲みます。 化膿止めの点滴をします (術前)	術後の痛み 注射、座薬、内服など状況に応じて 痛み止めを使用します。 常用薬は医師の指示により開始となります。 	(夕) (朝) (夕) (朝) (夕) (朝) (夕)						
検査					採血			採血	必要に応じて採血があります		
処置			剃毛		必要に応じてガーゼを交換します			抜糸			
説明	手術の説明があります (医師、看護婦) 新しい薬が処方された 時は、服薬指導があり ます。(薬剤師) 禁煙してください。 	麻酔科医師の診察があり ます。 9時～10時頃、訪室し ます。病室にいてください。	入れ歯、眼鏡、コンタクト、 時計、ヘアピン、ピアス、 ネックレス、かつら等は はずして下さい。 下着を取り、T字帯と術衣 をつけて、輸送車で3階の 手術室へ行きます。	家族の方は、手術後、 医師から説明があります。 2階家族休憩室でお待ち ください。 手術後はICUに入室し ます。	朝10時頃、A5病棟に戻 ります。	装具使用中の注意 ・自分で肩を動かしたり、腕を下げたり すると縫合した腱に負担がかかります。 肩は自分で動かさないで下さい。 ・風呂や着替えの時は、看護婦が腕を ささえますので、力を抜いてください。				退院前に生活の注意点や、 次回の外来診察について お話します。	

退院おめでとございます

手術当日は、正午までに家族の方の来院が必要です。